

会敷地と隣接地を第1候補地としたことを明らかにした。市は今後、基本構想や基本計画を策定、合併特例債の活用ができる2020年ごろの完成をめざすといふ。

小川市長はこの日、「防災拠点施設として新庁舎の早期建設は最重要課題」と説明。市民アンケートや懇話会などの提言を踏まえ、安全性や利便性、早期実現性などの条件から「現本庁舎敷地が第1候補地と判断した」と答えた。

## 大垣市の新庁舎 現在地が最有力

大垣市の新庁舎建設問題で、小川敏市長は9日、市議会一般質問で、現庁舎に隣接

小川市長はこの日、「防災拠点施設として新庁舎の早期建設は最重要課題」と説明。市民アンケートや懇話会などの提言を踏まえ、安全性や利便性、早期実現性などの条件から「現本庁舎敷地が第1候補地と判断した」と答えた。

現庁舎は本庁舎が1964年の建設。老朽化して耐震基準を満たしておらず、一部の部署は分庁舎にあります。新庁舎建設問題では、複数の候補地が挙がっていました。

現庁舎は本庁舎が1964年の建設。老朽化して耐震基準を満たしておらず、一部の部署は分庁舎にあります。新庁舎建設問題では、複数の候補地が挙がっていました。

市によると、対象用地は、本庁舎敷地と庁舎北側の駐車場や倉庫など計約1万1960平方㍍。駐車場は借地で、用地内には民家があるが、用地交渉などを進め、15年度までに基本構想、基本計画の策定をめざすという。

小川市長は、安全性や利便性、早期実現性、整合性の4条件を基に検討し、大垣駅に近く、中心市街地にあることなどを理由に現庁舎敷地内に建てる方針を選んだと説明した。

市によると、現本庁舎北側の駐車場や市道、民有地に建設する計画。民有地が含まれるため、今後、用地買収交渉に入る方針だ。

市によると、現本庁舎北側の駐車場や市道、民有地に建設する計画。民有地が含まれるため、今後、用地買収交渉に入る方針だ。

## 「新庁舎は隣接地に」

大垣市 建て替えて市長方針  
大垣市の庄舎建て替えは9日、現庁舎の隣接

現庁舎は1964年に建つ。現在の本庁舎は1964年完成で築49年が経過。老朽化し、耐震性で問題点が指摘されていた。また、市庁舎は本庁舎の他に北庁舎、南館、同北館、東庁舎と分散し、市民から「かりにぐい」との声が出ていた。

## 新庁舎候補地は「現庁舎に隣接」

大垣市長表明  
大垣市の小川敏市長は9日の定例会本会議で、懸案となっている新庁舎の建設と並んで、市有地の活用や早期の実現性などを勘査して現庁舎に隣接する土地を第1候補地と考えている」と表明した。石田仁議員（自民）の一般質

地分を含めて新庁舎の規模や総事業費などを検討し、2020年度までの完成を目指す。

現庁舎は1964年に建設され、その後、増築された。鉄筋コンクリート4階建て、延べ床面積は約9800平方㍍。耐震診断で、大地震が起きると崩壊の危険

平成25年12月10日

大垣市長表明  
大垣市の小川敏市長は9日の定例会本会議で、懸案となっている新庁舎の建設と並んで、市有地の活用や早期の実現性などを勘査して現庁舎に隣接する土地を第1候補地と考えている」と表明した。石田仁議員（自民）の一般質

現庁舎は1964年に建つ。現在の本庁舎は1964年完成で築49年が経過。老朽化し、耐震性で問題点が指摘されていた。また、市庁舎は本庁舎の他に北庁舎、南館、同北館、東庁舎と分散し、市民から「かりにぐい」との声が出ていた。

新庁舎の規模などは今後策定する基本構想や基本設計、実施設計などで明らかにする。合併特例債の期限となる2020年度の完成を目指す。

# 現庁舎隣接地と再開発

**大垣市役所  
建て替え  
高層ビル案を検討**

【大垣】大垣市は、開発する方向で検討することになった。小川敏市長が9日開かれた市議会で明らかにし、現行の市役所を建て替えて、現行の市役所隣接地を含めて新たに建設する方針を採用した。

新庁舎の建設地は市内3カ所が主な候補にのぼっていたが、利便性や中心市街地のまちづくりとの整合

（一部民有地）の用地確保とともに、来年度にも基本構想などの予算措置を講じる考え方だ。

新庁舎は現庁舎北側に延べ床面積で現在の1万3600平方㍍（分庁舎を含む）を上回る規模の施設となる。

現本庁舎は完成から49年が経過し、耐震性能を示すIS値が0・18（0・3未満は危険性が高い）を示し、建替えが懸案事項となっていた。建設にあたっては合併特例債が活用できる2015年度が竣（しゆん）工のめどとしている。

# 新庁舎建設に向け

大垣市方針

新庁舎建設に向け

中日新聞

大垣市は九日、市役所新庁舎を現在の本庁舎敷地に加え、隣接地を取得して建設する方針を明らかにした。現本庁舎の北には、来庁者駐車場として借りている民有地のほか、店舗や民家がある。市では取得に向けた交渉を進めるとともに、二〇一〇年度までの完成を目指す。

大垣市は九日、市役所新庁舎を現在の本庁舎敷地に加え、隣接地を取得して建設する方針を明らかにした。現本庁舎の北には、来庁者駐車場として借りている民有地のほか、店舗や民家がある。市では取得に向けた交渉を進めるとともに、二〇一〇年度までの完成を目指す。

（山本克也）

市は、築五十年間近の本庁舎には耐震性の問題があり、北庁舎と東庁舎に機能が分散している点も踏まえ、

「新庁舎建設が適当」と判断。市の基金と合併特例債で賄う方針で、基金の積立額は二十八億四千七百万円（二年度末）。

市議会一般質問で小道を含めた計四百七十平方㍍を追加して取得するのには全体で計一万一千九百五十六平方㍍とする方針だ。

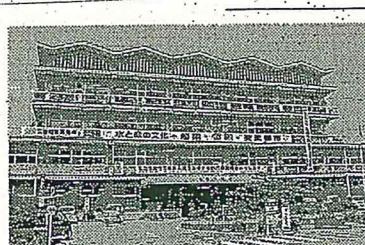
市議会一般質問で小道を含めた計四百七十平方㍍を追加して取得するのには全体で計一万一千九百五六十平方㍍とする方針だ。

市議会一般質問で小道を含めた計四百七十平方㍍を追加して取得するのには全体で計一万一千九百五六十平方㍍とする方針だ。

公用車駐車場や、建設規模や事業費、着工時期など、市民の



新たに取得を目標とする部分  
大垣市役所



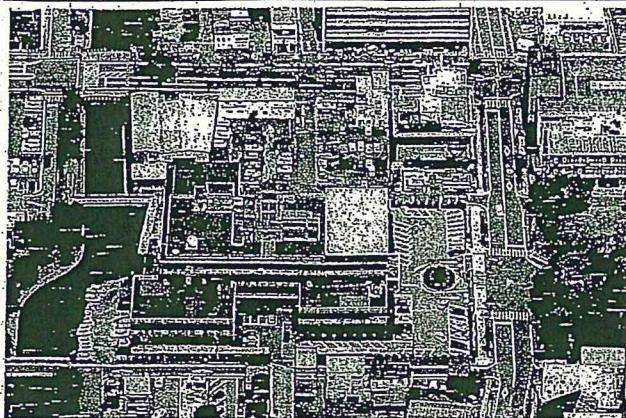
わせて再開発する敷地面積は約1万2000平方㍍。本庁機能を集約するため、新庁舎は延べ床面積で現在の1万3600平方㍍（分庁舎を含む）を上回る規模の施設となる見込み。

現本庁舎は完成から49年が経過し、耐震性能を示すIS値が0・18（0・3未満は危険性が高い）を示し、建替えが懸案事項となっていた。建設にあたっては合併特例債が活用できる2015年度が竣（しゆん）工のめどとしている。

現本庁舎は完成から49年が経過し、耐震性能を示すIS値が0・18（0・3未満は危険性が高い）を示し、建替えが懸案事項となっていた。建設にあたっては合併特例債が活用できる2015年度が竣（しゆん）工のめどとしている。

# 大垣市、現在地に新庁舎

小川市長表明 防災、利便性を考慮



新庁舎建設の第1候補地となった現在の本庁舎周辺。本庁舎北側の駐車場や民家などの用地を新たに取得する=大垣市丸の内(市提供)

大垣市が建て替えを検討している市庁舎の建設候補地について、小川敏市長は9日、「現

在の本庁舎敷地と隣接して石田仁議員の質問に答

した」との考え方を明らかにした。同日開かれた市議会一般質問で、

在の本庁舎(同市丸の内)と、駐車場などが

ある北側の計1万19

56平方㍍。北側の借

地の市役所駐車場と民

家の2軒、店舗1軒の用

地計2257平方㍍を

新たに取得し、間にあ

る市道も用地に充て

る。本庁舎と北庁舎、

東庁舎は統合する。

建設場所の候補には、大垣競輪場駐車場

(同市早苗町)や南部

学校給食センター跡地

(同市新田町)も挙が

っていた。小川市長は

地を第一候補地と判断

した」との考えを明らかにした。同日開かれた市議会一般質問で、

在の本庁舎(同市丸の内)と、駐車場などが

ある北側の計1万19

56平方㍍。北側の借

地の市役所駐車場と民

家の2軒、店舗1軒の用

地計2257平方㍍を

新たに取得し、間にあ

る市道も用地に充て

る。本庁舎と北庁舎、

東庁舎は統合する。

建設場所の候補には、大垣競輪場駐車場

(同市新田町)も挙が

っていた。小川市長は

進められるかどうかを考慮した」などと選定理由を述べた。

現在の本庁舎は1964年に完成し、築49年が経過。構造物の耐震性を示すIS値は0・18と、基準の0・6

を大きく下回っている。また、教育委員会のある北庁舎と都市計画部のある東庁舎が市道と県道を挟んで分かれている。(有我友香理)

ての安全性和他の官公署からの距離、自己用地を活用して経済的に地を選定された。

建設費は、人口が同規模の自治体の例から100億円程度かかるとされ、合併特例債と公共施設整備基金で賄う。基金は2012年度末現在で28億471

0万円。来年度以降に基本構想、基本計画を策定し、合併特例債の期限である20年度までの完成を目指していく。(有我友香理)

岐阜新聞

ついていた。小川市長は、大垣競輪場駐車場は、大垣競輪場駐車場建設場所の候補に答弁で「防災拠点とし